

## 知事コメント

令和4年8月9日(火)

明日は沖縄の大事な年中行事の一つ、お盆の初日「ウンケー」です。今年には旧暦に続いて新暦でのお盆も13日から始まることから、連休を利用して県内外の往復や家族間交流の機会が増えることが予想されます。

県内では先行して流行が起こった離島において徐々に陽性者数の減少が見られ、前週同曜日と比較して減少が見られる日も確認されており、急速な感染拡大の勢いはようやくペースを落としたかの様にみえます。

感染拡大の一因と考えられる人流の推移を見ると7月中旬以降繁華街や商業地等の様々な地点で減少が見られております。県民の皆様が不要不急の外出をできるだけ控えていること等の効果が徐々に現れていると認識しております。

しかしながら、県内では医療提供体制がひっ迫し、入院調整等が困難な状況が続いております。本日時点病床使用率は84.4%と、医療非常事態宣言を発出した7月21日の病床使用率(71.5%)と比較しても更に高い水準となっており、改善は未だみられておりません。

これまでの感染拡大に伴う入院者数の増加等により、コロナの診療や入院のみならず、救急搬送や救急診療、外来診療の制限など一般医療にも影響が出ております。現状では、高齢者を中心とした重症化リスクの高い方だけでなく、それ以外の皆様も体調に気を付けなければなりません。アウトドアやレジャーを楽しむ機会が増えるこの時期であれば、尚更です。

特に世代をまたいで交流が行われるお盆の過ごし方は重要です。お盆はできるだけ同居家族のみで過ごして頂きたいと思っております。親族を迎える必要がある場合においても、室内の換気や手指消毒等の感染対策を徹底し、重症化リスクの高い方と会うことや、大人数での会食は控えてください。時間差を設けて短時間の滞在とするなど密にならないよう工夫をお願いします。

帰省される方においてもこれらの対策に加えて、帰省前に陰性確認の検査をして、体調不良時には帰省を延期するようお願いいたします。ご家族からもそのことを呼びかけて下さい。

お盆を含む今週新規陽性者数の増加を抑えることが出来るかどうか、今夏の流行を抑え込む為にとっても重要です。県外におられる方を含め県民の皆様、今後沖縄県訪問を検討されている県外の皆様におかれましても沖縄県の現状についてご理解頂き、感染対策の徹底を強くお願い致します。